

進路だより

令和6年12月24日発行
桜が丘特別支援学校 進路指導部
No. 3



進路だより第3号を発行します。今回は、卒業生の生活を紹介します。

今回の卒業生は、

「得永 聡史 (とくなが さとし) さん」です。

同窓会会長である得永さんに卒業生講話の講師として
11月14日(木)に来ていただきました。その内容を掲
載します。



1 現在就労されている事業所を教えてください。

→ ホテルオークラ JR ハウステンボス企画部総務人事・施設課従業員食堂に所属して
います。

2 仕事内容について教えてください。

→ 朝出勤して、お米を5kg(約33合)炊きます。前日のお米の残量を見て、追加
します。次に掃除をして、食堂が始まるまでの準備をします。食堂が始まったら、オ
ーダーを取ったり、盛り付けしたり、洗い物をしたりします。15時ぐらいから片付
けや明日に向けての準備をします。最後に集計をして総務に報告します。

3 仕事のやりがいと就職先で学んだことは何ですか？

→ 自分に合った職場なので、やりがいを感じています。今まで仕事をした中で、自分
に合う仕事と合わない仕事を知ることができました。合わない仕事は無理に続けなく
て大丈夫ですが、やってみないとわからないこともあるのでとりあえず出来ることか
ら始めてみることも大事だと思います。一見自分にできないと思っても、いざやっ
てみたらできることもあるし、自分のやり方でできることもあります。

4 高校卒業後の就活について教えてください。

→ パンを作る就労継続支援B型事業所に10年間いました。メモの重要さなどの基本
的なことや食品を扱う仕事で注意することなどの専門的なことを学ぶことができま
した。スーパーのトライアルで仕事をして、商品の位置を覚え、指示されたものを取
りに行く業務などは現在の職場でも活かしていると思います。

5 後輩にひとこと！

→ どんな時でも「笑いと好奇心」は大切。辛い時はみんなと笑い合った日々を思い出
してください。一人で抱え込まないことは大事です。

後期職場実習頑張りました！

高等部3年生は11月25日（月）から10日間、高等部2年生は11月27日（水）から8日間、高等部1年生は12月2日（月）から5日間の初めての職場実習に行きました。

職場実習は、社会生活に必要な態度を身に付けて能力を高めること、職種やそれに関する事柄を知って卒業後の進路を考えること、適性や作業能力、現場での適応能力を理解して、それぞれの進路選択や決定に役立てたりすることを目的として実施しています。

事前学習として、出勤方法や作業内容等を確認したり、実習の目標及び確認事項を「職場実習のしおり」に記入したりしました。また、働くために必要な勤労観やマナー、態度についてみんなで意見を出しながら考え、自分たちにはまだ身に付いていない力も社会では必要とされることを知ることができました。特に3年生では、職場実習に意欲を高める生徒が多く見られました。

実際に職場実習を行って、自分の目標を達成するべく積極的に取り組むことができたり、思うようにいかなくて苦勞をしたりと、それぞれの生徒が多くの経験をする事ができました。今年度から学年に応じて実習期間が異なりますが、卒業後の生活を見据え、一人一人の生徒が、自分の目標と向き合い、一日一日目標を立て、作業に取り組めたことを自信にしてほしいと思います。

実習後は、事後学習として、「職場実習のしおり」を用い振り返りを行いました。感想文やお礼状を書くことで、自分の課題や適性について知ることができたと思います。今回の経験を、卒業後の生活や、来年度実施予定の前期職場実習につなげて、学校生活では、更に成長できるように指導を行っていきます。

（文責：高等部 西山百合）

職場実習（後期）の様子

園芸作業



果物の袋詰め



魚フライ衣付け



箱折り



スーパー業務



盛り付け作業



陶器バリ取り



介護補助



【小・中学部用】

社会「昔から今へと続くまちづくり」

小学部4年生は、社会で「昔から今へと続くまちづくり」で川棚の文化財と偉人について調べました。実際に近くの常在寺に行き、八百年前の大木に触れてきました。



社会「焼き物を生かしたまちづくり」

小学部4年生は、社会で「わたしたちの県のまちづくり～焼き物を生かしたまちづくり～」で三川内焼について勉強をしました。11月15日（金）に佐世保市うつわ歴史館と三川内焼美術館に行きました。

佐世保市うつわ歴史館では、三川内焼の歴史についての動画を見ました。土でできた「土器」と土でできた「陶器」、石でできた「磁器」を実際に叩いて、焼き物の音の違いを調べました。

三川内美術館では、江戸時代から昭和時代までの名品が並ぶ展示品を見学し、自分が好きな作品を見つけて、伝え合いました。現在の窯元の作品もあり、好きな作品の写真も撮りました。また、お皿の絵付け体験もしました。作品ができあがるのが楽しみです。



2つの校外学習や日ごろの勉強で長崎の良さを再発見することができました。また、歴史を学ぶことで、過去の出来事や人々の生き方、社会の変化を理解して、将来に活かすことができる貴重な学びの機会となりました。

（文責：小学部 瀬口 未来）